

全法連事務局 御中

([mail@zenkokuhojinkai.or.jp](mailto:mail@zenkokuhojinkai.or.jp)) (FAX03-3357-6682)

## 1. 法人会版健康経営宣言書「青年部会」用

(2023年5月31日現在)

単位会名（所属県連名）	（公社）清水法人会		（静岡県法人会連合会県連）	
部会長 氏名	高野 光之			
部会長 携帯番号				
部会長 メールアドレス				
単 位 会 情 報	事務局所在地	〒424-0826 静岡市清水区万世町2-3-10 清水総合保険ビル4F		
	担当者(事務局員)名	金指 雅人		
	TEL	FAX	054-351-0015	054-354-1055
	メールアドレス	<a href="mailto:s-houjin@po2.across.or.jp">s-houjin@po2.across.or.jp</a>		
	部会員数	54名		

### 健康づくりの取組目標・取組内容

健康経営宣言 (目標)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 会員間の交流を通じて組織の結束を高め、地域貢献活動への参加により清水法人会（青年部会）の存在意義を向上させる。</li></ul>
予定している活動の カテゴリーを 選定してください。  1つ以上に○を つけてください。	<p><b>1 フィジカル（身体的）部門</b>…運動や身体的な改善内容等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 役員会の場を利用し、健康増進について会員相互で情報交換を行う。</li><li>・ スポーツ交流会（ゴルフ、ボウリング等）の開催。</li></ul> <p><b>2 メンタル（精神的）部門</b>…社員のメンタルヘルス対策や職場環境改善等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 講習会（メンタルヘルス、健康経営等）の開催。</li></ul> <p><b>3 ソーシャル（社会的）部門</b>…地域貢献活動やボランティア活動等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ こどもお仕事体験フェアの開催（地域の小学生に模擬職業体験から、勤労と納税の大切さを学んでもらう）</li><li>・ 世界文化遺産、三保の松原保全活動</li></ul>

(下記の該当項目にチェックを入れてください。)

全法連ホームページに上記内容を掲載することを承諾します。

上記のとおり申し込みます。

2023年6月23日

単位会名： （公社）清水法人会

(押印は不要です。)

部会長名： 高野 光之

企業名	(公社) 清水
申請者名	高野 光之
(申請者名) カナ	タカノ ミツユキ
申請者の役職名	部長
カテゴリー	3
活動のタイトル	三保の松原保全活動つながる広がる社会貢献型健康経営
活動期間の始期 (年月日)	2022/07/01
活動期間の終期 (年月日)	2023/06/30
参加人数	11
活動内容について	<p>・三保の松原保全活動 富士山世界文化遺産の構成資産である「三保の松原」の保全活動への取り組みを行いました。保全活動は松葉かきで清掃活動を行うことで松原を保全することに繋がります。保全活動は汗をかくほどの運動量と、参加者同士で交流ができ、地域貢献につながる活動です。今回は保全活動を習うために地元保全団体「(一社)三保松原 3rings プロジェクト」に協力するかたちで活動を行いました。※補足：(一社)三保松原 3rings プロジェクトの代表は清水法人会青年部会の顧問でもありそのことから協力関係を築いています。その他の活動として・健康経営の実務セミナー健康経営の基礎講座、健康経営優良法人を取得したメンバーの活動内容を実務セミナーで行い青年部会員に健康経営の理解を深める機会を作り自社への取り組みに繋がるようにしています。・アクティビティ活動への取り組み大同生命主催のウォーキングキャンペーンやゴルフコンペ、ボーリング大会など体を動かし交流する機会を作ることで健康経営に繋がる活動を行っています。</p>
アピールポイント	<p>三保の松原保全活動への取り組みはほどよい運動量、交流、地域貢献ができ清水法人会青年部会のメンバーだけでなく家族や社員、親会など参加者を増やしていくことで社会貢献ができる健康経営の一環につながると考えています。</p>
活動の成果	<p>三保の松原保全活動は今年度に入ってから事業として始め2回活動を行いました。活動のうち6月17日(土)には(一社)三保松原 3rings プロジェクトが主催する世界文化遺産登録十周年の記念イベントとして保全活動が行われ青年部会員もスタッフや参加者として活動へ参加しました。当日は約200名の市民や団体職員(市長や議員も含む)が参加し500袋(一袋あたり45リットル)の松葉かきを集め、交流と社会貢献を行いました。今後は集められた松葉を再生紙として再使用し名刺や折り紙などへの活用が進められる予定です。</p>
財政健全化への貢献度	<p>貢献度はプロジェクトとして目指しているものに対してまだ低いかもかもしれませんが、保全活動では部会員の家族や社員も参加していることから少しずつ貢献度に繋がっていると考えられます。また実務セミナー、アクティビティ活動なども行うことで健康経営への理解や取り組みへの機会に繋げ、部会員の会社での取り組みに繋がるようにしてい</p>

	<p>ます。この活動を続けて広げていくことが将来の財政健全化への貢献度に大きく繋がると考えられます。</p>
部会員企業への浸透度	<p>浸透度は新会員が増えたこともあり部会員にいきわたっているとはまだ言えない。そのため毎月行う役員会議において健康経営の基礎セミナーを実地。三保松原の保全活動は担当委員会を毎回変えていくことで全委員会が活動へ取り組む機会に繋がっている。毎年12月に行う実務セミナーでは健康経営を題材とし講師や部会員が講演を行い部会員への情報提供を行うことで健康経営の理解と重要性を深め自社への取り組みに繋がるように行っています。</p>

## 三保松原の保全活動

三保の松原(世界文化遺産)



三保の松原(街道)



保全活動の参加者と記念撮影



松葉かき



保全活動しながら交流



汗をかくほどよい運動量



富士山世界文化遺産登録 10 周年 三保の松原保全活動イベント

保全活動で松葉を 500 袋集めました



参加者約 200 名



参加した青年部会員(家族除く)



参加者と松葉かき



参加者と交流しながら保全活動



市長も参加されました



## 松葉かきの必要性



松は栄養分が少なく乾燥した砂浜でも生長することができるため海岸沿いに松林が作られ海からの風や高波、砂などから人々の生活を守ってきました。

松は一年中緑の葉を保っていますが、その一方で古くなった葉を毎日下に落とします。それを取り除かないと本来なら栄養分の少ない砂浜の上で落ち葉が栄養分となって様々な植物が生育するようになってしまいます。

世界遺産「白神山地」などではブナの落ち葉が腐葉土となって多様性のある豊かな植生を生んでいるのですが、三保の松原では多様性を持った雑木林になってしまうと松に十分な日光が当たらず、松が枯れてしまうのです。そうすると海風や塩分に弱い植物だけになってしまい、いずれ雑木林もなくなってしまう恐れがあります。

松のようなたくさんの太陽光が必要な「陽樹」は、雑木林が苦手なのです。

そうした松林を守る上で必要なのが「松葉かき」です。

松葉かきを行うことが富士山世界文化遺産の保全に繋がります。

吉村アドバイザーフィードバックシート

吉村健佑氏：精神保健指定医・労働衛生コンサルタント・公認心理師・  
 千葉大学医学部附属病院 特任教授・産業医・  
 全法連青連協健康経営プロジェクトアドバイザー

対象：ファイナリスト単位会・部会員企業

【単位会】

	良かった点・評価できるポイント	今後の取り組みに向けてのアドバイス
清水法人会 (名古屋・静岡)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元ならではの文化遺産、地域資源を保全、支援することと、健康経営を結び付けている地域ならではの取り組み</li> <li>・参加人数も、市民や団体職員など巻き込み、波及効果も大きく、楽しそう</li> <li>・地域から愛されている資源を守ることは、一体感の醸成も作りやすいし、参加人数も増やしやすく横の繋がりが期待できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動が参加事業者に対して、プラスになりそうなのか、それがどう事業所の健康経営に繋がるか、例えば、運動量を測定して数値化して参加者にフィードバックしたり、万歩計や活動量計でもよいが測定して、ジョギングで何キロ相当の運動となったというものを参加者にフィードバックすると参加自身のモチベーションになると感じる。</li> <li>・例えば、その運動量（歩数）を換算する。「国交通省が一步步くとどれくらい健康度が上がって、医療費が下がるか」といった数値を出している（※1）ので、運動量から歩数を換算したり、歩数から削減医療費といった医療費適正効果（健康効果）みたいなものを定量化するような活動も良いと感じる。参加人数が多いとその効果も大きい。（※1：一歩で0.065～0.072円）</li> <li>・地域資源を守っていく、街をきれいにするとといった活動と、地域の健康、街の財政の健全化に結び付けるアイデア。難しいところもあるが、参加人数×一人当たりの運動量、歩数で金銭換算するなどの方法もあるかも。活動をリリースしていくとか、発信していくということも重要なイメージアップになると感じる。例えば、参加した事業所に「三保の松原保全隊」といったステッカーを作って配り仲間意識を醸成し横の広がりを作るなど。</li> </ul>

		<p>自治体に地域資源を守っているという広報戦略にも使えると感じる。このような活動を外注もしくは自治体で実施することのコスト削減支援と考えると、その削減できたコストを自治体で健康増進に向けた事業に費用を振り向けられる間接的な効果といった視点もあるかも。自治体の予算を健康に振り向けるのも貢献のありかた。一義的には構成する事業主がプラスなるようなものが一番良いが、間接的なプラスも波及という意味では素晴らしいと感じる</p>
--	--	---